

平成21年3月期 第3四半期決算 補足資料

1. 平成21年3月期 通期連結業績予想の修正について

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	200,000	2,500	500	△1,400
今回修正予想(B)	186,000	△2,000	△5,000	△9,000
増減額(B-A)	△14,000	△4,500	△5,500	△7,600

前回発表予想は、2008年11月12日に公表した数値です。

<主な要因>

[単位：億円]

(1) 売上高	△140	
・需要の減少等	△65	
・銅価下落による売上の減少	△60	[10~3月想定銅ベース @500 → @400]
・為替による影響	△15	[期末想定レート 97円/\$ → 90円/\$]
(2) 営業利益	△45	
・銅価下落による影響	△25	
・事業環境の悪化	△20	
(3) 経常利益	△55	
・営業利益の減益	△45	
・円高による為替差損の拡大	△10	
(4) 当期純利益	△76	
・経常利益の減益	△55	
・繰延税金資産の追加取り崩し	△20	
・事業構造改革に伴う特別損失	△10	
・少数株主持分	9	

2. 収益改善施策について

現在、経営環境の激変に対応するため、年間20億円以上の固定費削減に取り組んでいます。また、中期的な視点から事業構造改革も喫緊の課題と認識し、子会社や拠点の統廃合など今後の需要に見合った効率的な販売・生産体制の構築を柱とする事業構造改革を策定しています。

具体的な事業構造改革および中期経営計画の見直しについては、改めてお知らせいたします。

(1) 固定費の削減

- ・グループ会社を含めた役員報酬の減額
(詳細は本日発表の「役員報酬等の減額に関するお知らせ」をご参照下さい。)
- ・管理職を主とした人件費削減
- ・非正規従業員・海外生産拠点の人員削減
- ・需要に見合った操業度調整 ⇒ 減産、帰休の実施
- ・設備投資の圧縮
- ・管理可能費の更なる圧縮

(2) 事業構造改革の加速

- ・基盤事業である電線・ケーブル関連事業の事業規模最適化
- ・ワイヤハーネス(電子ワイヤ)事業の生産拠点見直し
- ・エネルギーシステム事業を中心とした海外展開の強化

以上

[お問合せ先] 昭和電線ホールディングス株式会社

人事総務統括部 広報課 TEL:03-5532-1911 E-mail:soumu@hd.swcc.co.jp